

平成 25 年 9 月 20 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 オ ー プ ン ハ ウ ス
住 所 東 京 都 千 代 田 区 丸 の 内 二 丁 目 4 番 1 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 井 正 昭
(コード番号：3288 東証第一部)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 今 村 仁 司
TEL. 03-6213-0776

東京証券取引所市場第一部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 25 年 9 月 20 日に東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

なお、平成 25 年 9 月期（平成 24 年 10 月 1 日から平成 25 年 9 月 30 日）における当社グループの連結業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別紙のとおりであります。

【連 結】

(単位：百万円、%)

項 目	平成 25 年 9 月期 (予想)			平成 25 年 9 月期 第 3 四 半 期 累 計 期 間 (実績)		平成 24 年 9 月期 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売 上 高	95,995	100.0	154.0	53,993	100.0	62,318	100.0
営 業 利 益	10,013	10.4	178.9	3,710	6.9	5,597	9.0
経 常 利 益	9,001	9.4	199.3	3,143	5.8	4,515	7.2
当期(四半期)純利益	5,411	5.6	214.4	1,994	3.7	2,523	4.0
1 株 当 たり 当 期 (四半期) 純利益	275 円 41 銭			105 円 40 銭		133 円 34 銭	
1 株 当 たり 配 当 金	25 円 00 銭			—		25 円 00 銭	

- (注) 1. 平成 24 年 9 月期 (実績) 及び平成 25 年 9 月期第 3 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり当期 (四半期) 純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 平成 25 年 9 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数 (5,400,000 株) を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分 (最大 400,000 株) は含まれておりません。
3. 平成 25 年 9 月期の業績予想につきましては、その重要性を鑑み、連結の業績見通しのみを開示し、個別の業績見通しについては開示いたしません。

本資料に記載されている当社グループの当期の連結業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上



平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年9月20日

上場会社名 株式会社オープンハウス 上場取引所 東
 コード番号 3288 URL http://openhouse-group.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒井 正昭
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 今村 仁司 TEL 03 (6213) 0776
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績（平成24年10月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	53,993	—	3,710	—	3,143	—	1,994	—
24年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 1,940百万円 (—%) 24年9月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	105.40	—
24年9月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成24年9月期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年9月期第3四半期の数値及び平成25年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
2. 当社は、平成25年6月28日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権は存在するものの、当社株式は平成25年9月期第3四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	69,101	16,477	23.8
24年9月期	56,949	15,010	26.4

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 16,477百万円 24年9月期 15,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,995	54.0	10,013	78.9	9,001	99.3	5,411	114.4	275.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年9月期3Q	20,325,000株	24年9月期	20,325,000株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	1,400,000株	24年9月期	1,400,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年9月期3Q	18,925,000株	24年9月期3Q	18,925,000株

(注) 当社は、平成25年6月28日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料1ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内については、各種経済対策や金融政策が功を奏し、景気は持ち直し傾向でありました。消費マインドの好転に伴って個人消費は回復し、企業収益や業況判断にも改善の動きが見られ、今後の先行きについても、景気回復へ向かうことが期待されます。一方で海外については、欧州の債務問題による金融不安の長期化など、経済情勢の先行き不透明感は払拭しきれない状況が続いており、引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループが属する住宅不動産業界においては、住宅着工件数や首都圏のマンション総販売戸数が堅調に推移するなど、持ち直し始めております。先行きについても回復が期待されますが、消費税増税や、住宅ローン減税の拡充、贈与税非課税枠の特例措置等の政策による消費者動向には注意を払う必要があります。

このような状況下、当社グループは、不動産仲介事業におきましては、消費マインドの改善に加えて、自社ブランドのプロモーション展開による顧客訴求力の向上及び顧客獲得構造の強化を受け、販売は好調でありました。なお、平成25年4月には新たに蒲田営業センターを出店し、販売力を強化しております。引き続き、業容拡大に向けての事業展開を推進してまいります。また、不動産販売事業におきましては、販売状況は順調に推移しており、今後も好業績の継続を見込んでおります。一方では、景況感の好転に伴って新規物件の仕入れ競争が激化している中で、当社グループといたしましては、厳選した用地仕入れと徹底した原価管理に努め、高品質の住宅を低価格で供給することに注力する方針であります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高53,993百万円、営業利益3,710百万円、経常利益3,143百万円、四半期純利益1,994百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

不動産仲介事業につきましては売上高1,907百万円、営業利益1,117百万円となりました。不動産販売事業につきましては売上高51,811百万円、営業利益2,549百万円となりました。不動産金融事業の売上高は274百万円、営業利益127百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、11,767百万円増加して67,264百万円となりました。これは、販売用不動産、仕掛販売用不動産の残高が、それぞれ1,927百万円、8,983百万円増加したこと等によるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、359百万円増加して1,795百万円となりました。これは、投資その他の資産が298百万円増加したこと等によるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、12,289百万円増加して41,394百万円となりました。これは、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、1年内償還予定の社債の残高が、それぞれ2,687百万円、7,374百万円、1,319百万円増加したこと、未払法人税等の残高が1,622百万円減少したこと等によるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、1,604百万円減少して11,230百万円となりました。これは、長期借入金の残高が1,331百万円減少したこと等によるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,467百万円増加して16,477百万円となりました。これは、四半期純利益の増加に伴い利益剰余金が1,521百万円増加して16,492百万円となったことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今期は、第3四半期までの売上高が通期に比べて低い傾向にありますが、第4四半期に売上高が集中していることから、既に公表しております平成25年9月期の連結業績予想から変更はございません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,439	9,800
営業未収入金	177	170
販売用不動産	4,822	6,750
仕掛販売用不動産	34,728	43,711
営業貸付金	4,537	4,891
その他	1,881	2,031
貸倒引当金	△90	△90
流動資産合計	55,497	67,264
固定資産		
有形固定資産	332	354
無形固定資産	170	208
投資その他の資産	932	1,231
固定資産合計	1,435	1,795
繰延資産	17	41
資産合計	56,949	69,101
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,088	2,580
短期借入金	14,018	16,705
1年内返済予定の長期借入金	5,824	13,199
1年内償還予定の社債	100	1,419
未払法人税等	1,848	226
引当金	540	517
その他	4,684	6,745
流動負債合計	29,105	41,394
固定負債		
社債	729	460
長期借入金	11,986	10,655
引当金	14	8
その他	105	106
固定負債合計	12,834	11,230
負債合計	41,939	52,624

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	241	241
資本剰余金	24	24
利益剰余金	14,971	16,492
自己株式	△224	△224
株主資本合計	15,013	16,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	4
為替換算調整勘定	△1	△62
その他の包括利益累計額合計	△3	△57
純資産合計	15,010	16,477
負債純資産合計	56,949	69,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	53,993
売上原価	45,132
売上総利益	8,861
販売費及び一般管理費	5,150
営業利益	3,710
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	0
為替差益	284
その他	41
営業外収益合計	328
営業外費用	
支払利息	662
支払手数料	182
その他	50
営業外費用合計	895
経常利益	3,143
税金等調整前四半期純利益	3,143
法人税等	1,148
少数株主損益調整前四半期純利益	1,994
四半期純利益	1,994

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,994
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	6
為替換算調整勘定	△61
その他の包括利益合計	△54
四半期包括利益	1,940
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,940

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 仲介事業	不動産 販売事業	不動産 金融事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,907	51,811	274	53,993	—	53,993
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,603	—	4	1,607	△1,607	—
計	3,510	51,811	279	55,600	△1,607	53,993
セグメント利益	1,117	2,549	127	3,795	△84	3,710

(注) 1. セグメント利益の調整額△84百万円には、セグメント間取引消去28百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△112百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。